



平成29年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 OBARA GROUP株式会社
コード番号 6877 URL <http://www.obara-g.com/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 小原 康嗣

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長

(氏名) 飯高 成美

TEL 046-271-2124

四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第1四半期の連結業績(平成28年10月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第1四半期	10,641	△24.7	1,857	△35.2	2,411	△20.0	1,350	△21.5
28年9月期第1四半期	14,140	15.4	2,867	17.2	3,014	10.1	1,719	16.0

(注)包括利益 29年9月期第1四半期 4,669百万円 (193.2%) 28年9月期第1四半期 1,592百万円 (△58.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第1四半期	73.81	70.69
28年9月期第1四半期	92.46	88.68

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第1四半期	61,269	38,510	62.7
28年9月期	56,039	34,951	62.2

(参考)自己資本 29年9月期第1四半期 38,425百万円 28年9月期 34,872百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	30.00	—	60.00	90.00
29年9月期	—				
29年9月期(予想)		30.00	—	30.00	60.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年9月期の連結業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	22,500	△18.8	3,600	△40.7	3,700	△39.0	2,450	△34.1	133.94
通期	45,500	△9.3	7,200	△26.1	7,450	△21.2	5,000	△29.2	273.36

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年9月期1Q	20,869,380 株	28年9月期	20,869,380 株
② 期末自己株式数	29年9月期1Q	2,578,735 株	28年9月期	2,578,451 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年9月期1Q	18,290,823 株	28年9月期1Q	18,592,240 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社グループが現時点で入手した情報に基づき判断したもので、リスクや不確実性を含んでおり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	9
(1) 生産、受注及び販売の状況	9
(2) 地域別販売状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成28年10月1日～平成28年12月31日）における世界経済は、米国において景気拡大の動きが持続したものの、アジア地域を始めとする新興国の経済成長の鈍化や欧州地域の緩やかな景気回復から、全体として低成長で推移しました。

我が国経済につきましては、設備投資の回復に足踏みが見られるものの、個人消費や工業生産が持ち直しの動きを示すなど、緩やかな景気回復が続きました。

このような状況の下、当社グループと深く関わる自動車業界につきましては、中国を中心としたアジア地域と米州地域などで、新モデル投入などによる設備投資が行われるとともに、生産活動についても堅調な動きが見られました。一方、同じく当社グループと深く関わるエレクトロニクス業界では、先端デバイスなど一部に活発化の流れがあるものの、不透明な需給見通しなどを受け設備投資への慎重対応を継続する向きも見られました。

当社グループは、このような経営環境に対応するため、各市場動向に応じ、設備品及び消耗品の拡販に努め、ローカルニーズに対応した製品投入を進めるとともに、技術革新・次世代装置などの高付加価値製品の開発にも注力してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、為替相場が前年同期に比べ円高に推移した影響などにより、売上高106億41百万円（前年同期比24.7%減）、営業利益18億57百万円（前年同期比35.2%減）、経常利益24億11百万円（前年同期比20.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は13億50百万円（前年同期比21.5%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①溶接機器関連事業

溶接機器関連事業につきましては、取引先である日系・欧米系・アジア系自動車メーカーにおいて、中国を中心としたアジア地域や米州地域などで堅調な設備投資が行われ、世界各地の自動車生産は概ね高水準となりました。このような環境の下、当部門として設備品及び消耗品の拡販を図ったものの、前年同期に比べ円高に推移した影響を受けて、売上高は前年同期を下回りました。

この結果、部門売上高は81億4百万円（前年同期比13.2%減）、部門営業利益は18億69百万円（前年同期比2.4%増）となりました。

②平面研磨装置関連事業

平面研磨装置関連事業につきましては、スマートフォンなど主要エレクトロニクス製品の堅調な販売動向を受け、取引先であるエレクトロニクス関連素材において、生産活動の持ち直しが見られつつも設備投資は慎重な動きとなりました。このような環境の下、前年同期に比べ円高に推移した影響もあり、当部門として設備品及び消耗品の拡販を図ったものの、業績は前年同期を下回りました。

この結果、部門売上高は25億41百万円（前年同期比47.1%減）、部門営業利益は24百万円（前年同期比97.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は612億69百万円と、前連結会計年度末に比べて52億29百万円増加しました。現金及び預金が21億19百万円、受取手形及び売掛金が16億34百万円、有形固定資産が6億40百万円増加したことなどによります。

負債は227億58百万円と、前連結会計年度末に比べて16億69百万円増加しました。支払手形及び買掛金が3億99百万円、短期借入金が7億66百万円、未払法人税等が6億3百万円増加したことなどによります。

純資産は385億10百万円と、前連結会計年度末に比べて35億59百万円増加しました。為替が前期末より円安のため為替換算調整勘定が31億44百万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年9月期の連結業績予想につきましては、現時点において概ね計画通りに推移しており、平成28年11月7日に発表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,475	20,595
受取手形及び売掛金	14,708	16,343
有価証券	102	147
商品及び製品	3,738	3,895
仕掛品	1,976	1,972
原材料及び貯蔵品	2,684	3,026
その他	1,916	1,933
貸倒引当金	△672	△697
流動資産合計	42,930	47,216
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,900	4,926
土地	3,227	3,290
その他(純額)	3,715	2,266
有形固定資産合計	9,842	10,483
無形固定資産		
のれん	590	585
その他	587	635
無形固定資産合計	1,178	1,220
投資その他の資産		
投資有価証券	1,481	1,714
その他	663	690
貸倒引当金	△57	△56
投資その他の資産合計	2,087	2,348
固定資産合計	13,109	14,053
資産合計	56,039	61,269

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,762	4,162
短期借入金	400	1,167
1年内返済予定の長期借入金	13	14
未払法人税等	970	1,573
前受金	2,721	3,009
賞与引当金	1,073	698
その他	1,796	1,603
流動負債合計	10,738	12,228
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	7,049	7,045
長期借入金	102	110
繰延税金負債	2,753	2,897
役員退職慰労引当金	52	56
退職給付に係る負債	231	245
その他	161	174
固定負債合計	10,350	10,529
負債合計	21,088	22,758
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,925	1,925
利益剰余金	41,919	42,166
自己株式	△7,784	△7,785
株主資本合計	36,061	36,306
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	289	451
為替換算調整勘定	△1,478	1,666
その他の包括利益累計額合計	△1,188	2,118
非支配株主持分	78	85
純資産合計	34,951	38,510
負債純資産合計	56,039	61,269

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)
売上高	14,140	10,641
売上原価	9,201	7,101
売上総利益	4,938	3,539
販売費及び一般管理費	2,071	1,681
営業利益	2,867	1,857
営業外収益		
受取利息	91	51
受取配当金	9	10
為替差益	—	425
その他	74	78
営業外収益合計	174	565
営業外費用		
支払利息	7	4
その他	21	7
営業外費用合計	28	11
経常利益	3,014	2,411
税金等調整前四半期純利益	3,014	2,411
法人税、住民税及び事業税	648	938
法人税等調整額	505	119
法人税等合計	1,153	1,058
四半期純利益	1,860	1,353
非支配株主に帰属する四半期純利益	140	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,719	1,350

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	1,860	1,353
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	66	162
為替換算調整勘定	△334	3,153
その他の包括利益合計	△267	3,315
四半期包括利益	1,592	4,669
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,381	4,657
非支配株主に係る四半期包括利益	210	11

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年10月1日至平成27年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	溶接機器 関連事業	平面研磨装置 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,335	4,804	14,140	—	14,140
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	3	3	△3	—
計	9,335	4,808	14,143	△3	14,140
セグメント利益	1,825	1,074	2,900	△32	2,867

(注) 1 セグメント利益の調整額△32百万円には、セグメント間取引消去△3百万円及び報告セグメントに配分していない全社費用△28百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結会計期間より、当社の連結子会社であるOBARA KOREA CORP.が、A ONE TECH CO., LTD.の株式を取得したため、「溶接機器関連事業」のセグメントにてのれんを認識しております。

なお、当該事象によるのれんの計上額は602百万円としておりますが、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された額であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	溶接機器 関連事業	平面研磨装置 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,103	2,537	10,641	—	10,641
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	3	4	△4	—
計	8,104	2,541	10,645	△4	10,641
セグメント利益	1,869	24	1,894	△36	1,857

(注) 1 セグメント利益の調整額△36百万円には、セグメント間取引消去△4百万円及び報告セグメントに配分していない全社費用△32百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第1四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(百万円)	前年同期比(%)
溶接機器関連事業	7,314	+0.6
平面研磨装置関連事業	1,170	△13.4
合計	8,484	△1.6

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2 金額は、販売価格で表示しております。
 3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同期比(%)	受注残高(百万円)	前年同期比(%)
溶接機器関連事業	7,933	△27.1	6,024	△21.9
平面研磨装置関連事業	2,512	△13.3	4,293	△46.8
合計	10,446	△24.2	10,318	△34.6

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同期比(%)
溶接機器関連事業	8,103	△13.2
平面研磨装置関連事業	2,537	△47.2
合計	10,641	△24.7

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 地域別販売状況

(単位：百万円)

	日本	アジア パシフィック	米州	その他	計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
売上高							
外部顧客への売上高	2,870	6,345	1,057	367	10,641	—	10,641
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,060	261	30	2	1,353	△1,353	—
計	3,930	6,607	1,087	369	11,995	△1,353	10,641
セグメント利益	434	1,331	123	46	1,935	△77	1,857

- (注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。